

日刊磐城時報

編輯 石城郡平野町 印刷 石城郡平野町 電話 四一五
發行所 石城郡平野町 電話 四一五
印刷所 石城郡平野町 電話 四一五
廣告料 一行十文字 日金五円
日刊 日曜 祭日 休刊

紫斑病とは誤診で

丑藏は眞性天然痘

患者既に十四名に達す 調査した傳染系統

平地方の天然痘は益々猖獗を極つた人々、並に近親者から發せしめられた患者は十一名の患者に達した。平野町有馬者数を数ふるに至つたが、午後には醫者は丑藏の死因を紫斑病と診至り、平野村大字下平野折内百斷したがそれは誤診で、眞性天然痘と確定し午後三時然痘患者であつた事は最早疑ひなく、平野町白銀町山田氏も弓田の眞性天然痘と確定し、狩野衛生技師診察の結果眞性果して何れから傳染したかについて確定直ちに隔離したが、之でいて平野町衛生技師は患者は十三名となり更に午後六時に至り大浦村大字下仁井田酒井(十七)も疑似天然痘と決し總數十四名を數ふるに至つた。

傳染經路

弓田技師談

傳染系統については渡邊衛生課長以下總掛りで調査中であるが患者の殆んど全部は去る二月二十四日死亡した平野村木田丑藏(五五)の葬儀に會葬し納棺を

俄然郡南に飛火し

勿來に天然痘發生

渡邊衛生課長以下急行し 傳染經路を調査

平野町附近の天然痘は益々猖獗を極め、平野町有馬者数を数ふるに至つたが、午後には醫者は丑藏の死因を紫斑病と診至り、平野村大字下平野折内百斷したがそれは誤診で、眞性天然痘と確定し午後三時然痘患者であつた事は最早疑ひなく、平野町白銀町山田氏も弓田の眞性天然痘と確定し、狩野衛生技師診察の結果眞性果して何れから傳染したかについて確定直ちに隔離したが、之でいて平野町衛生技師は患者は十三名となり更に午後六時に至り大浦村大字下仁井田酒井(十七)も疑似天然痘と決し總數十四名を數ふるに至つた。

一名は死亡

二名危篤

天然痘に罹つた平野村大字幕の内太田トミ(二七)は十五日午後一時遂に死亡したが、その外危篤に陥つてゐる者二名あると。

強制種痘

十六日も續行

平野町に於ける強制種痘は十五日町内九ヶ所で一齊に行ふ筈であつたが、痘苗が不足したの中止し東京北里傳染病研究所から更に一萬人分を購入し十六日以前同様種痘を行つた。

消毒機とマスク

飛ぶやうに賣れる

平野町では今回天然痘發生が隣村と交換するといふ大々的犧牲賣

學校を専門に荒し 列車内では詐欺

三名共謀の怪漢 平野署に捕はる

十六日午前一時頃平野町を徘徊し第五坑の浴場から衣類數點、てゐる三人連れの舉動不審の男警備村大字藤原三井炭礦倉庫を平野署刑事が取押へて調べた處ら反物其他、湯本町入山炭礦精米倉庫から白米、内務務所裏風清三六、秋田縣南秋田郡川尻村呂場から衣類二十數點、入山小生れ伊藤祐太郎(十九假名)栃木縣警備隊からマント其他、内野村警備隊西郷村生れ窃盜前科一犯渡邊芳松(二二)と言ひ何れも住所不定無職の男で三名は共謀として三月九日午後一時頃内野村大字綴裁縫女學校に忍び入り合羽、女帯、反物等價格百三十圓分を窃取した外湯本町入山炭

空瓶交換賣出し

日に増し好評を博す

平野町久保町永山酒造店永山和甫氏は去る七日から小賣部を開設町に配り注文を取らせ、あるし同家で醸造する酒由良の助の普及を計るため直接生産者から需要家に販賣する計劃を樹て價格は一升瓶詰一圓二十錢、四合瓶詰四十錢、二合瓶詰二十錢の原價で提供してゐるが、その上特典として

強制種痘

四倉町でも

四倉町役場に於ては来る本月十八日午前八時より當役場に於て金町民に對し強制種痘を行ふと

水野家で寄附

四倉町本町水野屋菓子舖長谷川好男氏は亡父好之助氏の遺志に依り四倉小學校に金壹百圓、四倉消防組に金五拾圓、本町青年義團に金五拾圓を寄附した。

製糸場の設置促進運動

關係者が決議

石城郡養蠶同業組合では各種團体の賛同を得て平野町に製糸場を設置する事既報の如く既に經營方について片倉製糸場と交渉も済んだが、同様の工場は仙臺から東京まで海岸通りにはまだ一ヶ所もない事、あり石城郡のみならず年々二十萬圓の繭が産出され第一公園の石柵延長工事、向山大炭礦を控へてゐる關係上石炭園の改修工事等名實相添ふ公願する安つくといふので片倉園

迎客準備

花の平野で

三日來の寒さに又も赤井の連峰には薄雪を頂くに至つたので櫻の開花を遅らすであらうと氣遣はれてゐるが平野町松ヶ岡公園たよび新川端の櫻は昨今の蕾の様子から見れば一ヶ月後にはボツボツ開花を呈するに至るであらうと言はれてゐるので平野町では近來東北地方花の名所の誇りとして各方面の人を引つけてゐる松ヶ岡、新川端の櫻花を向一層廣く世に紹介せんと本年もまた花の場所にはそれと雪洞や高燭燈を無數に点火して不夜城を現出せしめ爛熳たる櫻花に更に一段の景氣を添はせる筈なると町役場はこれに先立ち公園内の風景を整然せむると共に危険を防止し直に花を見る人の歡樂場として遺憾なきを期せんと

組としても乘氣であり地方民も熱望してゐるから速からず實現するものと見られてゐる、これにして之が促進運動の必要があるとして去る十四日平野町元石城郡役所に伏見彦衛、井上前縣議、和田養蠶同業組合長、尾形信用組合長等會合して一日も早く片倉組社長の實地踏査を極力希望する旨決議しなほ種々協議した。

四倉管内 消防検閲

四倉管内春季消防検閲は四月三日四倉海岸に於て行ふ。

動力線で 一名即死

石城郡警崎村大字藤原三井炭礦坑夫松本泰(三十一)同武藤さん(四七)の兩名は十五日午前一時頃坑内で作業中動力線にふれ感電兩名とも即死。

映畫界

栗山久義は堂々たる邸宅を購へ自家用自動車を持ち小間使は勿論運転手やコックまでも置きながら経済的にも苦境に陥つてゐた。家庭では令嬢に嫁つたが小間使の主人の久義はそれを知りて令嬢を嫁に出さず、老練行家の嫁がやうと結婚させやうと考へてゐたが、無論令嬢は承知しなかつたが父の命令嬢は運命の手で二人を出逢して決心を固め、令嬢は合はせしめ、久義は小間使と駆け落ちして、當日久義は先方へ行つて見ると、相手が娘の意外な美人なると、離れてゐた地は知らず小間使の父の地は知らず小間使の父の地を待つてゐた。令嬢は久義の父の地を待つてゐた。令嬢は久義の父の地を待つてゐた。

佛蘭西料理普及の爲

開店三週年を記念し左記の方法に依り破格の献立を以て奉仕致します。何卒進んで文化的食物を御試食下さいませ。

方法

一、デインナア(正餐)

十二品 金壹圓貳拾錢

一、御給仕の仕方、食へ方其他會食(宴會等列席の場合)の一般常識を御説明申し上げます。

一、御試食されます料理の製法をも家庭的に一々公開御話しいたします。

洋式作法から料理製法の講習を兼ねた宴會であります。昨年催しました國際料理試食會に御出席の方は是非御申込み下さいませ。

家庭的料理實習所

平町甜屋町(縣社通り)

西洋料理

美味で 評判の **イノ手食堂** 電話四六〇番

支那六神丸
特約店 平町五丁目 山野邊藥局

牛豚肉特價

提供

牛中	肉百匁	金三十
牛上	肉百匁	金五十五
口口	肉百匁	金七十
口口	肉百匁	金九十
口口	肉百匁	金六十

平町停車場前(平劇場入口) 廉賣王 深谷牛肉店 電話五二四番

病弱、肺病に悩み

賣薬は勿論あらゆる手當をつくすも効果なく悲觀の方には目下大評判の内用「ツオタル九」及「カルシウム吸入器」藤本博士創案、最後の手段として十日間實驗服用して下さい、必ず再生の喜びを得る事が出来ます。

ツオタル九金貳圓 ▲カルシウム吸入器金拾參圓 社會奉仕 四割引(ホシ胃腸薬に限り)

平町宇田町 藥劑士 宇佐美藥局

◆十六日より 熱心力、雄大壯麗の巻

◆日活珍寶、小泉嘉輔、獨創努力の珍寶

◆喜劇、なまげ、者全

◆飲めや唄へや踊つて蹴ねて、後は野となれ山となれ、力

◆ホチヤン、獨得の妙技、偉大?傑作?タタ一言、素的、滅

◆法、面白、可笑しい、映畫

◆日活時代連續大映畫、朝日新聞連載、原作大佛次郎

◆監督高橋壽康、主演河部五郎、大河内傳次郎

◆映畫壇の寵兒、心血の結晶、ストリト演出、デニツク殺

◆陣、悉く満点突破、大衆時代映畫の完璧

◆松竹作品、中村吉藏氏原作、諸口十九主演

◆松井千枝子、新井淳、田中絹江、飯田蝶子

◆上品でもチャリミングな面白、最も映畫的映畫は

四倉特設電話 開通披露

一八番	館下	日本無線電信
二九番	横町	坂本定次郎
三〇番	新町	佐藤 藥寫眞館
三一番	仲町	田村屋自動車部
三二番	仲須賀	渡邊留五郎
三三番	新町	長谷川清九郎
三四番	仲町	繁武士金物店
三五番	新町	梅の井
三六番	新町	四倉銀行
三七番	横町	馬目捨次郎
三八番	横町	大河原春吉
三九番	本町	高木屋支店
四〇番	本町	日本屋肥料店
四一番	新町	美好堂菓子舖
四二番	本町	辰ノ口支店
四三番	新町	満壽屋酒店
四四番	本町	仁井田屋精米所
四五番	駅前	丸二運送店
四六番	新町	佐藤宇三郎
四五番	仲須賀	鈴木唯次
一〇五番	新町	長谷川寅次郎